

2025 年度事業計画及び収支予算修正案について

1 変更の目的

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター中期計画（2025 年度-2029 年度）策定（2024 年 12 月理事会にて承認）を受け、事業セグメント区分及び名称を変更するもの。従来の事業内容の区分から対象エリアによる区分を行うことで、事業間の連携促進、また適切なリソースの分配による事業の成長と効率化を目指すもの。

2 変更内容

報告セグメント変更及びセグメント名称変更

変更前

変更後

事業名		事業名	
1. 新市場開拓事業		1. 地域ブランド事業	
	(1) 海外輸出入支援事業		<u>(1) コスメ構想情報発信事業</u>
	(2) 地域コスメ販路開拓支援事業		(2) 地域原料開発支援事業
2. 産業創出事業			(3) 立地創業活動支援事業
	(1) 産学連携プラットフォーム構築事業		(4) 情報発信事業
	(2) 海外クラスター連携事業	2. 産業創出事業	
	(3) 会員ネットワーク形成事業		(1) 会員ネットワーク形成事業
	(4) 立地創業活動支援事業		(2) 産学連携プラットフォーム構築事業
3. 地域ブランド事業		<u>3. 海外ネットワーク構築事業</u>	
	(1) 情報発信事業		(1) 海外クラスター連携事業
	(2) 地域原料開発支援事業		(2) 海外輸出入支援事業
4. 専門人材配置事業		4. 専門人材配置事業	
	(1) 専門人材配置		(1) 専門人材配置

※下線は名称変更

地域コスメ販路開拓支援事業 → コスメ構想情報発信事業

新市場開拓事業 → 海外ネットワーク構築事業

(定時社員総会報告事項 2 別紙)

2025 年度事業計画案

JCC は、2025 年度より新たな中期計画（2025-2029）に基づき、今後の JCC 拡大・発展のもととなる基盤事業を確立していく。化粧品業界におけるサステナビリティ志向の高まりや法規制の変動などに対し、最新の情報を会員に届けるなど柔軟に対応を進めていく。特に、アジアとの連携強化、会員基盤の拡大、県内コスメ原料の栽培と供給体制の強化に重点を置く。

提携クラスターを中心としたアジア市場におけるパートナーシップの拡充や、会員と連携した規制対応のサポートなど、会員企業の海外市場での競争力を高めるサポートを行う。また、唐津市・玄海町における原料栽培の取り組みをさらに発展させ、安定的な供給体制の確立を目指す。

会員企業との関係強化を図り、JCC の活動をより多くの企業・団体に届けるために、情報提供や支援の充実を進める。さらに、自治体や関係機関との連携を深め、適正な事業運営と持続可能な成長を両立する。

これらの取り組みを通じ、会員企業の企業価値向上と、佐賀県の化粧品関連産業の発展を促し、地域経済の活性化を推進する。

【総括表】

事業分野	事業名
1 地域ブランド事業	(1) コスメ構想情報発信事業
	(2) 地域原料開発支援事業
	(3) 立地創業活動支援事業
	(4) 情報発信事業
2 産業創出事業	(1) 会員ネットワーク形成事業
	(2) 産学連携プラットフォーム構築事業
3 海外ネットワーク構築事業	(1) 海外クラスター連携事業
	(2) 海外輸出入支援事業
4 専門人材配置事業	(1) 専門人材配置

1 地域ブランド事業

アジアで一番コスメビジネスがしやすい都市『コスメ県 SAGA』

目的：佐賀県独自のコスメブランド価値を確立し、全国・海外に向けた認知度向上と販路拡大につなげる。

(1) コスメ構想情報発信事業

JCC 会員及び九州各県の地産素材を活かしたコスメ商品の国内販路開拓、および会員間のマッチングを支援。JCC・コスメティック構想の認知度向上を図る。

- 国内展示会共同出展
1/14-16 第 16 回化粧品開発展 [東京] @東京ビッグサイト
- JCC ポップアップギャラリーを活用した販促支援、情報発信
- 商品開発等相談対応

(2) 地域原料開発支援事業

耕作放棄地を活かしたハーブ栽培など新たなビジネスモデルの創出を図るとともに、地域素材とコスメ企業のマッチングを促進する。

- ACRO 化粧品原料受託栽培
- 玄海プロジェクト
玄海町薬草組合活動支援
未利用資源（生薬未利用部）活用支援：共同研究成果の実装化
- 佐賀県産素材の原料開発支援/活用促進
- 耕作放棄茶畑整備による茶の実油生産体制の構築

(3) 立地創業活動支援事業

国内外の進出可能性のある企業へのアプローチを行うとともに、佐賀県の資源（人、施設、風土等）を体験する機会の提供により企業誘致及び起業の関心喚起

- 佐賀県内コスメ関連施設の視察ツアー

(4) 情報発信事業

JCC の取組や、会員企業の情報、地域の魅力を様々な媒体を活用して国内外に発信し、JCC・コスメティック構想の周知を図る。

- 国内向け情報発信：Instagram、ウェブマガジン等を活用した情報発信
- 海外向け情報発信：ニュースレター、LinkedIn 等を活用した情報発信
- ふるさと納税企業版、個人版情報発信、寄附募集

2 産業創出事業

コスメティック産業のコラボレーション Hub に

目的：会員間のネットワーク形成を基盤とし、会員間のコラボレーションを促進するとともに、JCC のコーディネート機能強化を図る。

(1) 会員ネットワーク形成事業

会員企業のニーズに応じたセミナー、交流会等による、会員間の交流促進、マッチング等の支援および相談対応を行う。また、「コスメ×〇〇」として、他業種と連携した事業を推進、新たなビジネスの創出を図る。

- 企業活動支援・相談対応
- 会員や地域のニーズに応じたセミナー及びネットワーキングを開催
- 会員情報の発信

(2) 産学連携プラットフォーム構築事業

支援大学を中心とした会員企業との共同研究促進、マッチングを支援することにより、新技術を創発する場を創造するとともに、産業界に資する人材育成を支援する。

- 共同研究支援（特許活用支援）
- 産学官連携の深化

3 海外ネットワーク構築事業

アジアを代表する国際コスメティッククラスターに

目的：今まで培ってきた国際ネットワークを活かし、アジアを中心とする海外市場への展開と佐賀県の国際的認知度向上を図る。

(1) 海外クラスター連携事業

グローバルコスメティクスクラスター（GCC）並びに海外提携クラスターとの交流・連携の強化により JCC のグローバル展開の促進を図る。

- GCC Asia（韓国、タイ、台湾、日本）設立、交流企画実施
- 海外視察ツアー
- GCC B2B Businessplace の活用・JETRO 連携

(2) 海外輸出入支援事業

外部機関と連携し、JCC 会員及び地域企業の輸出入を促進する。

- 海外展示会 共同出展／出展支援
- 海外市場・法規制セミナー

4 専門人材配置事業

人員配置：

事務局長 1 名

コーディネーター等 3 名（国際 1 名、製販 1 名、原料 1 名）

JCC ポップアップギャラリー担当 1 名

原料担当 1 名

事務職員 2 名

※職員 2 名を新規採用

事務局次長 1 名

原料担当 1 名：地域原料開発支援業務